

# SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・  
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

**NPO法人 地域福祉サポートちた**

## も く じ

- 地域包括ケアを  
まちづくりへ全開！……1P
- 知多地域市民活動支援センター  
意見交換会……2P
- 日本福祉大学SLバスツアー……2P
- サービスラーニング団体の紹介……2P
- 南粕谷コミュニティ  
福祉部会バスツアー……3P
- 新社会人のためのマナー研修……3P
- NPO担当若手職員リレー……3P
- インフォメーション……4P

## 地域包括ケアをまちづくりへ全開！

代表理事 岡本一美

27年度が始まりました。3月まで、モリコロ助成金をいただき行なってきた「ちた型地域包括ケアのまちづくり～地域資源ネットワーク構築事業～」のプロセスをまとめた小冊子「円卓会議で進める0～100歳の地域包括ケア」が完成しました。(写真)本法人HP参照。



これは、市町ごとに推進する際、行政機関が参考にできる「しくみ編」と市民が関心を持ち、取り組みを始められる「活動編」の両開きによる冊子です。

「地域包括ケア」は、介護保険法第6次改訂による新地域支援事業をはじめ、子ども子育て支援法、生活困窮者自立支援法など、社会保障に関わる新しい制度の動きとあ

わせ、協働によるまちづくりを推進しつつ、構築されなければなりません。

すなわち、住民一人ひとりの意識と行動を「支えあうまちづくり」へと変えていくことと共に、それぞれの地域にあるNPOや地縁、事業者、医療や福祉の専門機関、行政機関がつながり、力を出し合うことが求められているのです。

4月23日に会員団体からの提案で、本テーマについての意見交換を目的としたランチョンミーティングを開催しました。半田市から、ひだまり、りんりん、ベタニアホーム、武豊町のゆめじろう、東浦町から絆、知多市ゆいの会、あゆみ、だいこんの花8法人12人が参加。市町の動向を共有しながら課題整理、「ちた型」といえる具体的なくみづくりのための協議が始まりました。

今年度は、引き続き5市5町の動向について情報共有する場を設け、NPOを核とした市町ごとのネットワーク

化を推進すると共に、

- ① 基盤であるNPOの組織力強化
- ② 市民教育としての「ふくし人材育成」
- ③ 地域アセスメントツールのブラッシュアップを行なって参ります。

2025年に向けての地域ビジョン「0～100歳の地域包括ケア=支えあうコミュニティづくり」をめざし、本年度も地域に根ざしてまい進いたします。ご指導、ご参加、ご協力等どうぞよろしくお願いいたします。

### 平成27年度 通常総会のご案内

- 日時 5月28日(水) 13:00～  
会場 知多市市民活動センター2階会議室  
議案 ① 平成26年度事業報告・収支決算  
② 平成27年度役員選任

### 会員交流講演会

#### 「0～100歳の地域包括ケアとふくし教育」

講師:原田正樹日本福祉大学教授

同日、同会場で14:30から開催します。7年目となるNPO協働型サービスラーニングの意義などお伝えし、6人の担当教員とNPOが懇談します。お申込み、詳細等は同封チラシをご参照ください。

### 次世代NPOリーダー研修

#### 「組織運営はじめのいっぽ」

6～9月の第1土曜日午後

講師:出口晋・今井友乃・戸成司朗・加古朗

就任5年以内の代表理事や理事長、事務局長、事業リーダー向け。お申込み、詳細はチラシをご覧ください。

## ■知多地域市民活動支援センター

### 意見交換会



介護保険制度改正より新地域支援事業スタートに伴うこれからの地域をどう支え合うのか。

愛知県、半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、武豊町の市民活動支援関係者が一堂に会した。

地域包括ケアのまち

づくりと市民活動支援センター(以下、センター)の役割を知多地域で考え合う機会として、3月19日(木)とこなめ市民交流センターで意見交換会を行い、センター設置検討中も含めた設置者・運営者である行政、社協、NPOの22名が参加した。

大学・行政・NPO・企業との連携による人材育成や0~100歳の地域包括ケアのまちづくりについての話題提供、各センターの現状を共有したのち「地縁とNPOの連携」について意見交換した。同じ地域で活動しながらも、継続性のあるNPOと役員任期が単年度の地縁が連携することは課題山積としながら、苦労話を交えながら話し合った。中でもはんだまちづくりひろばは、平成22年度から地域福祉計画に沿って、中学校区ごとに対話の場を設置した結果、地域課題の事例検討から住民主体によるボランティア活動(おたすけ隊)の発足につながるなど、イベント型地縁からの脱却を成果とする事例を紹介した。

引き続き、社会的な孤立を防ぐための地域力をキーワードに、介護予防、日常生活支援も含め、住民自ら助け合いの活動につながる地域福祉の視点を組み入れた協働の拠点として、センターの役割をさらに共有し、意見交換を継続していく予定。(市野)

## ■日本福祉大学SLバスツアー

3月25、26日の2日間にわたり、日本福祉大学社会福祉学部1年のゼミ生132人、教員6名によるサービスラーニングバスツアーを開催、1日2団体を3コース設定し、延べ12箇所を見学した。



幼少期の経験や家族が福祉に携わっている等、NPOや地域から学びたい!と意識の高い学生たち(ふれ愛にて)

始めに原田教授から知多半島のNPOバスツアーについての事前説明がなされた後、NPOの“ミッション”“成り立ち”“今の課題”を見学先で聞いてくるという課題が出された。

見学後の学生からは「NPOのイメージが変わった」「他のNPOも回ってみたい」「どちらのNPOも理念にお互い様という言葉が入っていた」などの感想があり、実際の現場を見聞きすることによって、これから始まる事前学習、6日間のNPO現場活動に向けての意欲が高まった。(竹内)

## ☆サービスラーニング団体の紹介☆

### NPO法人びすた〜り

知多半島でも少ない、精神障がい者支援を行っているNPO法人びすた〜り(知多市)は、農業と福祉の連携を軸に事業を展開している。農作業の行程はいろんな作業があり、「障がいのある方には得意な分野で関わりやすい」という、代表理事高山博好/事務局の高山京子夫妻に教えていただいた。

取材当日は、知多市金沢にある田に、【チーム愛知 自然栽培&農福連携】の仲間である県内の社会福祉法人などの職員と利用者、自然栽培に興味がある地元の方、小中学生などたくさんの仲間が集まっていた。田でも畑でも根っこ部分は抜かずに残しておく一方で、耕す際に葉や茎などの地上部は土に鋤き込まない。自然栽培(無農薬、無肥料)という環境負荷の小さな栽培法こだわっていて、安全で美味しい作物を育て、収穫物は作業中のランチにしている。農産物の販売はメンバーが取り組みたいと思ってから始める予定。



土を耕す前の工程である草取りと、湿田を乾田にするための溝を掘る作業をした。

「むのうやく」はメンバーにも通じる。薬を使わずに生活する「無脳薬」な生活へのチャレンジは、精神障がいを持つ人にとって、長く服薬を当たり前としてきた自分の生き方に向き合う機会を与える。(実際は「低脳薬」が限界)その分周りの支援者のフォローは大変だが、利用者からの声に24時間対応できる体制をとっている。食べ物を作るためのよい土壌を作るところから、収穫して食すところまで全工程を通して、精神障がいを持つ利用者の社会参加の足がかりの場となっている。(新保)

## ■南粕谷コミュニティ福祉部会バスツアー



旧呉服店の建物を改装した街かどサロンかめともで、運営委員長の石川正喜氏よりお話を伺った。

知多市南粕谷コミュニティ福祉部会主催によるNPO現場見学バスツアーを3月10日(火)に開催、23名が参加した。高齢化率40%に達する南粕谷では、成年後見制度

を理解してもらおうと多くの住民に参加を呼びかけ、NPO法人知多地域成年後見センター事務局長の今井友乃氏による、分かりやすく身近な事例を多用した講義を行なった。次に半田市のNPO法人亀崎まちおこしの会(以下、まちおこしの会)を見学、どのような活動をする若い世代が参加しやすいか等、双方が課題とするテーマについて意見交換した。できるところから参加してもらえるような声掛けをしていくことが、若い世代を巻き込むコツとしてコミュニティ活動のポイントを共有した。(新保)

### NPO現場見学オプションバスツアー

区長連合会や民生委員など、地縁関係者がNPOを見学し、課題認識を共有する機会をつくりませんか？わが町のNPOを見学する等、目的にあわせて一緒にプランニングします。まずは、ご相談ください。(新保)

## ■新社会人のためのマナー研修

新社会人や、改めてビジネスマナーを学びたい職員など7名を対象に、4月13日(月)NPO法人起業支援ネット代表理事久野美奈子氏を講師に招き、接遇の基本とは何かを学んだ。

NPO法人や福祉団体は、主にサービスを提供する職種。ビジネスマナーとは立ち振る舞いの作法を学ぶだけのものではなく、「相手と仲良くしたい気持ち」や「真剣に取り組む姿勢」を表現するもの、と学んだ。

例えば、お客様をお迎えする際の「お待ちしておりました」の一言は、先方にとっての安心感となり、迎える気持ちを伝えることが出来る。会議や打ち合わせの予定を社内でも共有する事は、来客対応の事前準備にもなる。接遇とは自分以外の仕事に関心を持ち、傍(はた)を楽(らく)にするための知恵である。(安藤)

## NPO担当若手職員リレー

### 瀬戸市交流活力部交流学び課 荻原美帆さん



市役所だけでは地域課題を解決できない今、NPOや市民活動は社会に欠かせない存在となっている。行政と市民、また庁内での協働を進めるという意味でも、NPOや市民活動の役割や特性について、職員に広く理解してほしいと感じている。

入庁後、社会福祉課、児童福祉課、市民課の窓口業務を11年、人事課を経て、交流学び課に配属され今年で2年目になる。新規採用職員向けのNPOや市民活動の研修はあるが、入庁したときに一度受けるのみで、その後は研修がなく、協働や市内のNPO、市民活動の実態についてなかなか理解されていないのではないかと。人事課で職員研修を企画していた時は、担当者が計画等すべてを決め実施しなければと必死だったが、庁内で協働し、各課からの提案やアイデアを人事課に持ち寄り、学び合える研修ができればより良くなるのでは、と語った。

NPOや市民活動団体にならぬ、思い立ったらすぐ行動に移し、地域の課題や社会の変化を敏感に感じ取り、他の部署と協働して同じ目標に向かうことができるようになりたい、と意気込む。(新保)

## 会費納入のお願い

(N)地域福祉サポートちたにご支援、ご協力頂きありがとうございます。27年度も引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。なお、振込用紙を同封させて頂いておりますので、ご利用ください。

- 正会員／(団体) 15,000円 (個人) 5,000円
- 準会員／(団体) 5,000円 (個人) 3,000円

☆ご入会ありがとうございます☆

- 【正会員/個人】 安井 洋子 様
- 【準会員/個人】 高山 京子 様
- 【準会員/個人】 加藤 智子 様
- 【準会員/個人】 山本 和枝 様

☆ご入会ありがとうございます☆

# サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

## ■子どもの創作ひろば 会員募集中

粘土造形や絵画、季節に合わせたプログラムを実施しています。一緒に楽しみませんか？

〈日時〉月1～2回 土曜日 14時～16時

〈場所〉NPO 法人ゆいの会 ゆい工房

〈対象〉幼児、小学生

〈参加費〉1回 1,580円(消費税・材料費含む)

〈問合せ〉NPO 法人ゆいの会 ☎ 0562-32-5906

## ■プリザーブドフラワー教室

生花に特殊な加工を施し、みずみずしい美しさをできるだけ長い時間楽しめるように作られたお花です。鮮やかな色合いや、やわらかい感触などを長く楽しめます。

〈日時〉一般向け 毎月第3木曜日 10時～12時

子ども向け 毎月第3土曜日 10時～12時

〈場所〉武豊町総合体育館 第2会議室

〈参加費〉会員 2,700円/1回

会員以外 3,000円/1回

〈申込問合せ〉NPO 法人ゆめフルたけとよスポーツクラブ

☎ 0569-84-1100

## ■介護職員初任者研修

〈日時〉5月19日(火)～7月14日(火)

〈会場〉認定 NPO 法人ネットワーク大府 研修室

〈その他〉教育訓練給付金制度、母子家庭自立支援教育訓練給付金制度あります。

〈申込問合せ〉認定 NPO 法人ネットワーク大府

☎ 0562-44-3735

## ■パステルシャインアート体験講座

パステルを粉にして絵を描くパステルシャインアートです。高齢者や障害者施設のレクリエーションにも活用できます。

〈日時〉5月23日(土) 10時～12時

〈場所〉半田市花園町 6-25-1

コミュイティスペースあみーご

〈参加費〉2,000円 〈定員〉10名

〈申込問合せ〉戸田愛 ☎ 090-4235-7269

<https://coubic.com/kiramekibatake>

## ■相談員募集！

〈要件〉障がい者支援 5年以上を有する経験者

〈内容〉障がい者の相談支援

地域自立支援協議会の事務局等

〈勤務先〉知多郡武豊町富貴字外面 85-2

〈問合せ〉NPO 法人ゆめじろう ☎ 0569-72-2963

## ■第3回ベティ基金助成先募集

株式会社 RandT カンパニーより預託され昨年 12 月にベティ基金を設立、年 3 回の助成より障害者支援活動団体を応援する。5 月より第 3 回の助成先を募集、下記要項を参照の上、お問い合わせください。

〈助成金額〉1 団体につき 8 万円

〈助成件数〉4 団体

〈内容/対象〉制度外の障害児者支援の取組を行なう団体  
法人格の有無は問わない

〈費目〉支援に必要な備品、講師料など

〈募集期間〉5 月 7 日(木)～7 月 31 日(金)

〈支払時期〉平成 27 年 9 月(予定)

〈申込問合せ〉NPO 法人地域福祉サポートちた(担当:江端)

## 知多市に6月開所予定！

障がいのある方お一人お一人が、地域の中で安心して自分らしい生活を送ることが出来る場所を作るために平成26年5月法人を設立、現在知多市にて、グループホームつどいの家 曾山・ヘルパーステーションつどいの開設を準備中。内覧希望の方は下記お問い合わせ先までご連絡ください。

### 一般社団法人つどい

つどいの家 曾山・ヘルパーステーションつどい

〈住所〉〒478-0001 知多市八幡字 曾山 7-134

〈電話〉0562-34-1337

〈FAX〉0562-34-1338

〈問合せ〉佐々木(090-9929-4603)

## 平成27年度 NPO現場見学バスツアー

定例開催は年2回【7月23日(木)、2月23日(火)】

のみです、お早目にご予約ください！



オプションバスツアーは随時受付中です。あなたの目的に合わせてプランニングいたします！(担当:新保)



特定非営利活動法人  
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1  
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631  
Fax 0562 (33) 1743